

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	都市環境工学刊行小委員会		主査名：村上 公哉 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：岩田 利枝 主査名：羽山 広文
設置期間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	・都市環境工学に関する教科書の刊行を目的に設置する。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：村上公哉(芝浦工業大学) 幹事：浅輪貴史(東京工業大学), 原英嗣(国士舘大学) 委員：三坂育正(日本工業大学), 田中英紀(名古屋大学), 吉田聡(横浜国立大学), 田中貴宏(広島大学), 宮崎ひろ志(関西大学), 竹林英樹(神戸大学), 中島裕輔(工学院大学), 増田幸宏(芝浦工業大学), 堀英祐(近畿大学), 横尾昇剛(宇都宮大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fi00-12/fi50-15.html	

項目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 刊行物の目次構成を精査しつつ、原稿の草稿を 9 割程度作成した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 刊行に向けた出版社との検討・調整の進捗

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>出版社と相談の上、刊行物の目次構成を見直し、構成の整理を行うとともに、読者層などを想定した原稿執筆のガイドラインを作成した。</p> <p>次に執筆者の調整を行い、執筆依頼し、一次原稿の約9割程度が出揃った。そして、章ごとに査読者を決め、査読結果を執筆者に返し、二次原稿の作成を行った。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。